



東京都 政策連携団体 事業紹介

都庁セミナー2025

～総務局 総務部 グループ経営戦略課～

東京都は、**都民の生活を最前線で支える**
東京都政策連携団体との協働により
「未来の東京」を創り上げていきます。

東京都政策連携団体は、
それぞれの**専門分野で一緒に活躍**していただける
皆さんを求めています。

グループ経営戦略課ホームページはこちら

東京都政策連携団体の採用情報 で検索



目次

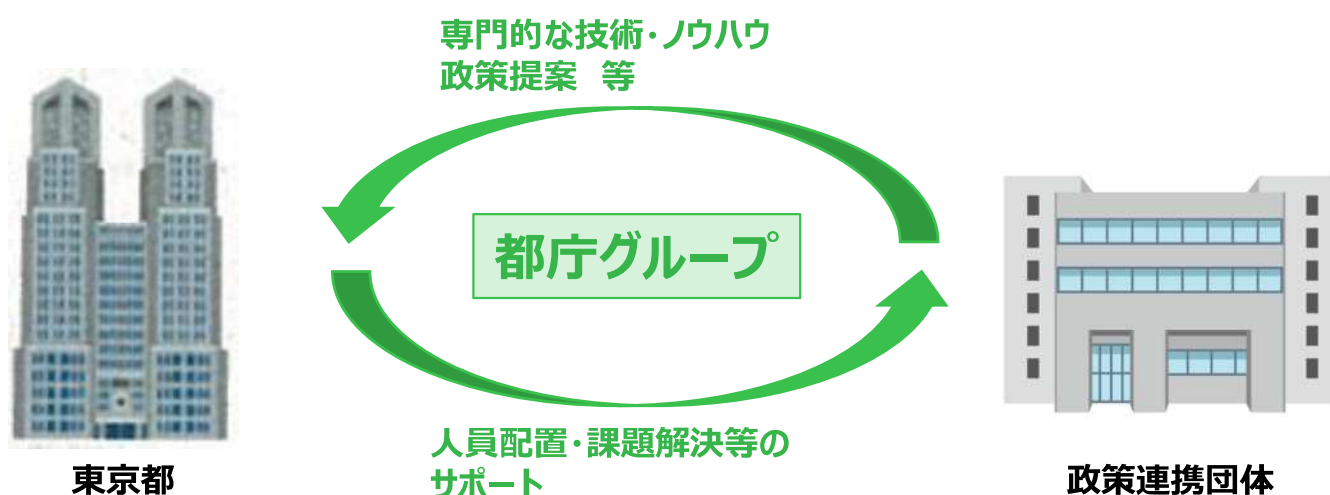
1. 東京都政策連携団体とは P2
2. 東京都政策連携団体一覧（33団体） P3
3. 仕事紹介

このたびは上記33団体のうち、以下の24団体の仕事をご紹介します。

分野	団体名	ページ
福祉・保健医療	公益財団法人 東京都福祉保健財団	P.5
	社会福祉法人 東京都社会福祉事業団	P.7
	公益財団法人 東京都医学総合研究所	P.9
産業・労働・経済	公益財団法人 東京都中小企業振興公社	P.11
	公益財団法人 東京しごと財団	P.13
	公益財団法人 東京都農林水産振興財団	P.15
	公益財団法人 東京観光財団	P.17
環境	公益財団法人 東京都環境公社	P.19
	東京水道 株式会社	P.21
	東京都下水道サービス 株式会社	P.23
教育・文化	公益財団法人 東京都歴史文化財団	P.25
	公益財団法人 東京都つながり創生財団	P.27
	公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団	P.29
都市づくり	公益財団法人 東京都公園協会	P.31
	公益財団法人 東京都都市づくり公社	P.33
	多摩都市モノレール 株式会社	P.35
	東京臨海高速鉄道 株式会社	P.37
	東京都住宅供給公社	P.39
	公益財団法人 東京動物園協会	P.41
	公益財団法人 東京都道路整備保全公社	P.43
	東京交通サービス 株式会社	P.45
財政・税務	公益財団法人 東京税務協会	P.47
その他	一般財団法人 GovTech東京	P.49
	公益財団法人 東京防災救急協会	P.51

1. 東京都政策連携団体とは

- 事業活動の範囲が主に都内で、都内の発展に寄与することを目的とし活動する団体を指します。
 - 専門的な技術・ノウハウを活用し、都と協働して事業を執行したり、高度な専門性に基づき都に対して政策提案を行うことを役割としている「**都庁グループ**」の一員であり、都民の生活を最前線で支えています。
 - 次項のとおり全33団体が、それぞれ特定分野での事業活動を行っています。
- ※ 政策連携団体の職員は、各団体の職員として採用されています。東京都職員、地方公務員として採用されているものではありません。



2. 東京都政策連携団体一覧

東京都政策連携団体は、下表のとおり計33団体あり、多分野で事業を行っています

分野	所管局	団体名
福祉・保健医療	福祉局	公益財団法人東京都福祉保健財団
		社会福祉法人東京都社会福祉事業団
	保健医療局	公益財団法人東京都医学総合研究所
産業・労働・経済	産業労働局	公益財団法人東京都中小企業振興公社
		公益財団法人東京しごと財団
		公益財団法人東京都農林水産振興財団
		公益財団法人東京観光財団
		株式会社東京国際フォーラム
環境	環境局・産業労働局	公益財団法人東京都環境公社
	水道局	東京水道株式会社
	下水道局	東京都下水道サービス株式会社
教育・文化	生活文化局	公益財団法人東京都歴史文化財団
		公益財団法人東京都交響楽団
		公益財団法人東京都つながり創生財団
	スポーツ推進本部	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団
		一般財団法人東京マラソン財団
		株式会社東京スタジアム
	教育庁	公益財団法人東京都教育支援機構

分野		所管局	団体名
都市づくり		都市整備局	公益財団法人 東京都都市づくり公社
			多摩都市モノレール 株式会社
			東京臨海高速鉄道 株式会社
			株式会社 多摩ニュータウン開発センター
		住宅政策本部	東京都住宅供給公社
	建設局		公益財団法人 東京動物園協会
			公益財団法人 東京都公園協会
			公益財団法人 東京都道路整備保全公社
		港湾局・産業労働局	株式会社 東京臨海ホールディングス
財政・税務		交通局	東京交通サービス 株式会社
		主税局	公益財団法人 東京税務協会
その他	DX推進	デジタルサービス局	一般財団法人 GovTech東京
	人権啓発	総務局	公益財団法人 東京都人権啓発センター
	島しょ振興		公益財団法人 東京都島しょ振興公社
	防災・救急	東京消防庁	公益財団法人 東京防災救急協会

次ページからは、上記のうち一部の団体について、その仕事や魅力をご紹介します。



公益財団法人 東京都福祉保健財団

団体の概要・事業紹介

都の福祉保健医療行政の充実及び都民に対する福祉保健医療サービスの向上に寄与することを使命として、福祉保健医療分野における以下の事業を行っています。



①専門人材の育成

専門人材の育成を図るとともに、専門職等を対象に福祉保健医療に関する最新の知識・技術を普及しています。



②よりよいサービス選択の支援

都民が適切な福祉保健医療サービスを主体的に選択し利用できるよう、総合的な情報提供や相談援助を行っています。



③事業者等への支援と適正な制度運営

福祉保健医療サービスが安定的に供給されるよう、福祉人材の確保・育成・定着や利用者の安全・安心の確保などに取り組む事業者を支援しています。



④日雇労働者の職業の安定と福祉の増進

城北労働・福祉センターでは山谷地域に居住する日雇労働者の自立・生活安定に向け、就労支援や生活総合相談、応急援護、健康診断などを行っています。



公益財団法人東京都福祉保健財団

事業紹介（令和7年度 組織と担当事業の紹介）

経営管理室	財団運営管理	福祉人材対策室	福祉用具等に関する知識・技術の普及・啓発事業(用具) 介護現場改革促進等事業 介護DX推進人材育成支援事業 障害福祉サービス等DX推進人材育成支援事業 介護職員奨学金返済・育成支援事業 障害福祉サービス事業所職員奨学金返済・育成支援事業 社会的養護職員等の奨学金返済・育成支援事業 東京都出産・子育て応援事業支援事務
企画財務室	魅力ある福祉の職場づくり研修等事業	評価支援室	福祉サービス第三者評価システム事業
介護人材養成室	介護支援専門員養成事業 外国人介護従事者受入れ環境整備等事業	運営支援室	東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業 東京都障害福祉サービス等職員宿舎借り上げ支援事業 介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当事業 障害福祉サービス等職員居住支援特別手当事業 子供が輝く東京・応援事業 社会福祉施設・医療施設等耐震化促進事業 福祉施設経営改善特別融資事業 福祉医療機構借入金利子補給事業 介護老人保健施設等整備資金利子補給事業 地域福祉振興事業 サービス付き高齢者向け住宅登録等事業 心身障害者扶養共済制度等事務 障害者支援施設等の使用料徴収事務 サービス推進費補助等事務
福祉人材養成室	地域包括支援センター職員研修事業 強度行動障害支援者養成研修事業 障害福祉サービス等事業者に対する経営管理研修事業 東京都障害者ピアサポート研修事業 介護職員等によるたんの吸引等のための研修・登録交付等事業 訪問看護管理者育成事業 保育人材育成研修事業 子育て支援員研修事業 ひきこもりに係る支援者等育成研修等事業 現任介護職員資格取得支援事業 現任障害福祉サービス等職員資格取得支援事業	介護事業者指定室	介護保険事業者指定申請受付等事業 生活保護法指定医療機関等指定申請受付等事業 介護サービス指定市町村事務受託法人事業
権利擁護支援室	高齢者権利擁護推進事業 障害者権利擁護推進事業	障害福祉事業者指定室	障害福祉サービス等事業者指定申請受付等事業 障害福祉サービス等指定市町村事務受託法人事業
健康支援室	健康づくり事業推進指導者育成事業 アレルギー疾患研修事業 保健医療情報センター事業 健康づくり支援施設運営事業 外国人未払医療費補てん事務	管 理 係	城北労働・福祉センター運営管理
職員研修室	こども家庭センター人材育成研修事業 生活困窮者自立相談支援機関職員研修等事業 認定看護管理者養成研修事業 看護職員養成研修事業 福祉局・保健医療局職員研修等事業 東京都立病院機構職員研修事業	企画広報係	職業紹介等就労支援事業
福祉情報室	福祉用具等に関する知識・技術の普及・啓発事業(出版) 福祉情報総合ネットワーク事業 介護サービス情報の公表事業 ユニバーサルデザイン情報サイト事業 働きやすい福祉・介護の職場宣言情報公表事業	生活相談係	生活総合相談等福祉支援事業
		就労支援係	



福祉人材養成室 Hさんの1日の過ごし方

8:45	出勤 メールチェック
9:00	申込受付・審査業務
12:00	お昼休憩
13:00	申込受付・審査業務
14:00	受講決定通知作成
15:00	受講決定通知ダブルチェック・発送準備
17:30	退勤



東京都福祉保健財団で働く魅力

○ 東京都との関係性

当財団は、東京都との密接な連携を図りながら、人材育成などの多岐にわたる事業を受託等により実施し、都民の福祉保健医療の向上に取り組んでいます。

○ 都内部での仕事との比較

- ・ 現場（福祉事業者、専門職等）がより近く、都民ニーズを肌で感じることができる。
- ・ 職員同士の意見交換をより活発に行える環境がある。

【東京都福祉保健財団（政策連携団体）で働くことの魅力】

- ◆ 都内の福祉・保健・医療という非常に広い分野の業務に携わることで幅広い経験を積むことができる。
- ◆ 様々な事業で培ったノウハウを活かし職員同士が協力して、自主事業の実施や都への政策提言などの業務に取り組むことができる。

業務は多岐に渡り、困難な場面に直面することもあります。その分やりがいや達成感が感じられます。
皆様と一緒に働けることを楽しみにしております。



団体の概要・事業紹介①

東京都社会福祉事業団について

- 平成10年 都立施設を運営することを目的に東京都が設立
- 都立施設10施設（児童養護施設6施設、障害者（児）施設4施設）を指定管理者として運営
- このほかに、自主運営施設（障害者施設）2施設についても経営
- 東京の福祉のセーフティネットを担う法人として、都立施設の運営を通じて培ってきた支援技術等を確実に継承し、利用者本位のサービスを提供するとともに、一人ひとりに寄り添った支援を実践しています。

事業団の経営理念

1. 利用者本位のサービスを徹底するとともに、一人ひとりに寄り添った支援をします
2. 東京の福祉のセーフティネットを担います
3. 地域と連携し、地域福祉の向上に貢献します



団体の概要・事業紹介②

事業団が運営する施設について

- 東京都・千葉県・神奈川県 の1都2県にまたがり、児童養護施設及び障害者（児）施設を12施設運営しています。

児童養護施設

保護者の病気や死亡、離婚、あるいは保護者からの虐待など、さまざまな事情によって家庭で生活することが困難な子どもを保護、養育する施設

障害者支援施設

障害者に対し、入浴や排泄、食事などの介護、また、生活などに関する相談や助言、その他の必要な日常生活上の支援（施設入所支援、生活介護、自立訓練、就労移行支援など）を行う施設

福祉型障害児入所施設

身体、知的または精神に障害のある子どもを対象とした入所施設



福祉職（ローテーション勤務）の1日の過ごし方

児童養護施設 遅番の例		障害者支援施設 日勤の例		障害児入所施設 夜勤の例	
13:15	出勤	8:30	出勤	16:00	出勤
15:00	幼稚園の降園・小学生の帰宅	9:00	引き継ぎ	17:15	引き継ぎ
18:00	夕食	9:15	ホール活動	18:00	夕食・自由時間
18:30	幼児・小学生と個別時間	12:15	昼食介助	20:00	消灯
20:00	消灯呼びかけ	14:15	入浴・外出等の要望対応	夜間	事務作業・見回り
21:00	中学生と個別時間	17:15	退勤	6:30	起床・朝食
22:00	退勤			登校時間	学校送り
				9:00	退勤

政策連携団体で働く魅力

- 都とどう関わっているか
 - 都の政策連携団体として、都立施設を含む児童養護施設や障害者（児）施設を運営しており、民間で対応できない困難事例も受け入れることで、東京の福祉のセーフティネットを担う。
- 都内部での仕事との比較
 - 利用者に直接関わる（又はその職員をサポートする）仕事であり、仕事の成果を身近に実感できる。また、他職種と連携してチームで仕事をするため、自らの視野を広げることができる。
- （社福）東京都社会福祉事業団で働くことの魅力
 - 【民間との比較】幅広い分野で困難事例を含めた経験を積むことができ、**自らの成長機会**につなげられる。充実した人材育成制度や人事・給与制度があり、**安定的に長く働くことができる**。
 - 【都との比較】利用者に直接関わる仕事であり、**仕事の成果を身近に実感できる**。柔軟で弾力的な経営の下、**自らの発想で業務を改善することも可能**。

東京都医学総合研究所の概要・事業紹介①

● 設立目的

東京都医学総合研究所は、神経系及びその疾患等に関する研究、精神障害の本態、成因、予防及び治療等に関する研究及びがん、感染症をはじめとする未解明の重要疾患の制御等に関する研究を総合的に取り組み、優れた研究成果を普及することにより、都民の医療と福祉の向上に寄与することを目的としています。

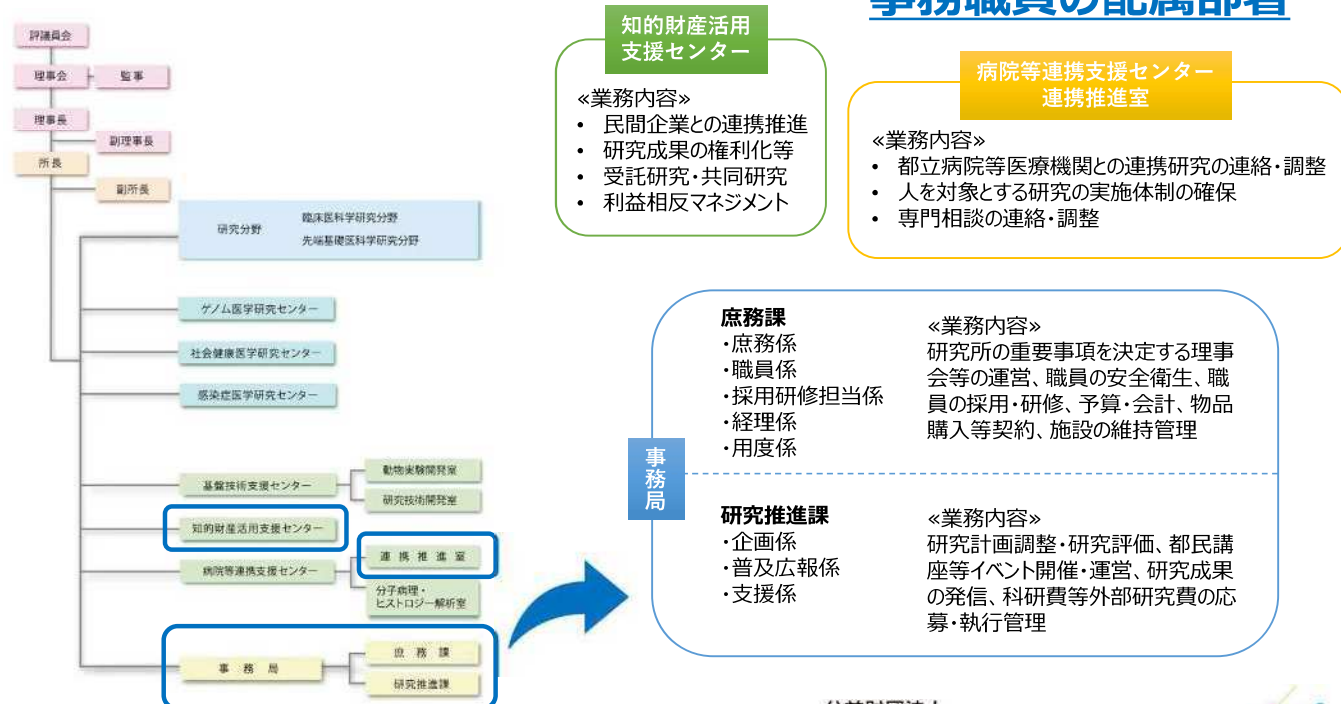
● 事業概要

- ・都民ニーズに対応し、研究成果の都民還元を目指したプロジェクト研究の推進
- ・都の重点施策の推進のため実施する特別研究
- ・研究成果をテーマにした都民向け講演会や、研究者向け研修会などの普及事業



東京都医学総合研究所の概要・事業紹介②

事務職員の配属部署



庶務課Aさんの1日

8:00	出勤・メールチェック
10:00	係内/他係の打合せ
12:00	昼食
13:00	職員からの提出書類の 受付・質問対応
16:00	研修等業者とWeb打合せ
16:45	退勤

通勤混雑回避等の時差出勤も可能です

研究推進課Bさんの1日

9:00	出勤・メールチェック
10:00	都民講座の準備 受付・案内表示・資料準備、 会場設営およびオンライン設定
12:00	昼食
13:00	都民講座 開場・オンライン配信開始
16:00	都民講座の後片付け 都民講座開催記事の準備
17:45	退勤



政策連携団体で働く魅力

▶ 都とどう関わっているか

都民の医療と福祉の向上に貢献するための医学研究を推進しています。事務局業務としては、都から重要かつ喫緊の疾患の解明の要請があれば、その研究を行うための予算要求を行ったり、新たな発見等研究成果が出た際は、都と連携してプレスリリースを行う等、都と様々な形で関わる機会があります。

▶ 都内部での仕事との比較・政策連携団体で働くことの魅力

研究所での事務局業務は、基本的には都内部と変わりません。都と異なる点としては、研究職員に重要な研究を進めていただくための環境を整えるといった業務が主となり、直接的に研究者と関わる機会が多いことがあげられます。医学研究の進歩を間近で感じつつ、その下支えを事務局職員が担っているという誇りを持ちながら働くことができます。



中小公社をご紹介します！

➤ ミッション

東京都における中小企業の総合的・中核的な支援機関として各種支援事業を提供し、東京の経済の活性化と都民の生活の向上に寄与します！

➤ 職員数

正規職員239名、都派遣職員45名、有期職員392名、合計676名
正規職員の平均年齢37.7歳 ※令和7年11月1日時点

➤ 事業拠点

本社を秋葉原に構え、城東・城南・多摩の3地域に支社があります。
また、丸の内にはTOKYO創業ステーションがあるなど都内各地に拠点あり！



➤ 事業内容

都内中小企業に対して、以下のような支援を行っています。

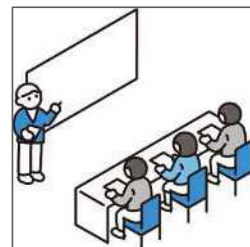
経営
相談

助成
金

販路
拡大

人材
支援

この他にも100を超える支援メニューがあります！



➤ 仕事内容

事務職ではありますが、事務処理をするだけの仕事ではありません！

具体的には、相談窓口の運営、助成金の審査、セミナーの企画・運営、企業訪問、事業紹介に係る広報活動、展示会の出展支援等を行います。

また、東京都・支援企業・専門家・委託業者の意見をまとめる調整業務も重要な業務です。



本社(総合支援課) Aさんの過ごし方



9:00

出勤

おはようございます！勤務は9パターンから選択可

内勤
開始

■相談窓口運営事務(電話対応、請求書・伝票作成、発注)
■セミナーの企画、運営 ■支援企業の情報共有(打合せ)

12:00

ランチ
タイム

自席でお弁当や、同僚と外食 😊



13:00

午後
出張

出張例「新島出張」「企業PR動画撮影同行」「展示会出展」等



17:45

退勤

お疲れ様でした♪



中小公社で働くことの魅力を 若手職員に聞きました！



- 「東京都の支援機関」として数多くの企業と接する機会を持てる。
- 若手も提案をしやすい環境であり、裁量権を持って仕事できる。
- 有給休暇など休暇の取得しやすさや勤務時間を調整できるところ。
- 売上やノルマ等のプレッシャーがなく、プロセスを評価してもらえる。
- 分からない点は遠慮なく質問できる雰囲気。

私たちは成長機会あり、働きやすい団体です！



団体の概要

■ 設立目的

- ・ 働く意欲を持つ都民のために雇用・就業を支援
 - ・ 東京の産業の振興に必要な人材の育成
- ▶ 豊かな職業生活の実現と活力ある地域社会づくりに寄与

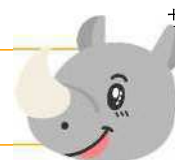
■ 職員数（令和7年11月1日現在）

- ・ 508名
（固有職員208名、都派遣31名、嘱託職員269名）



財団広報リーダー
サイようくん

平均年齢38.8歳！ 活気のある職場です！



事業紹介

1. 東京しごとセンターの運営

- ・ 東京都が設置した、しごとに関するワンストップサービスセンターを運営（都内2か所）
- ・ 仕事を探す全ての年齢層を対象にサービスを提供

2. 障害者就業支援

- ・ 障害者や障害者の雇用を検討している企業等に対する支援

3. シルバー人材センター事業

- ・ 都内58か所のシルバー人材センターへの支援

4. 雇用環境整備事業

- ・ 人材確保・採用活動に課題を抱える中小企業を支援
- ・ 働きやすい職場環境の整備の支援

5. 高年齢者等の多様な能力・経験の活用促進

- ・ 企業間の人的資源の移動等に関する支援



しごとセンター課Aさんの1日の過ごし方

9:00	出勤、メールの確認・返信作業、庶務事務	
10:00	担当者打ち合わせ・資料作成	
12:00	昼食	
13:00	セミナー会場設営・受付・講師来場対応	
14:00	セミナー開始・現場待機	
16:00	セミナー終了・後片づけ・実績まとめ	
17:45	退勤	

政策連携団体で働く魅力

■ 都との関わり

都の雇用就業に関する政策の実現に向け、その施策の現場を担う一員として、協同・連携しています。

■ 都内部での仕事との比較

様々な経験を持つ職員とともに、利用者や企業とより近い距離感で、都の雇用就業施策に携わることができます。

雇用就業分野について、高度な専門知識や現場でしか得られないスキルを高めることができます。





- 所在地：東京都立川市富士見町3-8-1
- 職員数：191人（正規職員）※うち財団固有職員69人
（令和7年11月1日現在）
- 東京農林水産業の**振興事業**と**試験研究**の2方面で事業展開

- ・農業の担い手育成
- ・農業者の経営支援
- ・地産地消の推進
- ・森林の整備・保全
- ・多摩産材の利用拡大
- ・畜産振興・水産資源拡大 など



栽培技術指導の様子



トウキョウX

- ・東京型スマート農業による高収益型技術の開発
- ・高品質・高付加価値なオリジナル品種の開発
- ・農畜産業や緑化植物等の研究による都市課題解決 など



東京おひさまベリー



グバルディア

事業紹介

➤ 東京農林水産ファンクラブ

東京の農林水産業の魅力や価値を共有し、集い、楽しむためのコミュニティ
会員限定イベントやプレゼント企画など特典あり



TOKYO GROWN
トップページ

ファンクラブ
ロゴマーク



➤ TOKYO GROWN（情報発信の総合ウェブサイト）

東京の新鮮で安全・安心な名産品、特産品や、東京で営まれている
農林水産業の魅力を広く国内外に発信するウェブサイト

➤ チャレンジ農業支援センター

販路開拓や商品PRに向け、専門家の派遣や新たな取組に
必要な経費の助成を行い、農業者の稼ぐ力を応援

➤ とうきょう援農ボランティア

東京農業の担い手不足を補うため、農業に関心を持つ方々を援農
ボランティアとして養成し、農作業をしたい方と農業者の両方を応援



専門家の指導を受けて
販路開拓や高付加価値化
に取り組んだ例



ボランティアの様子
（ブロッコリーの定植）

➤ 国産木材の魅力発信拠点MOCTION（モクシオン）

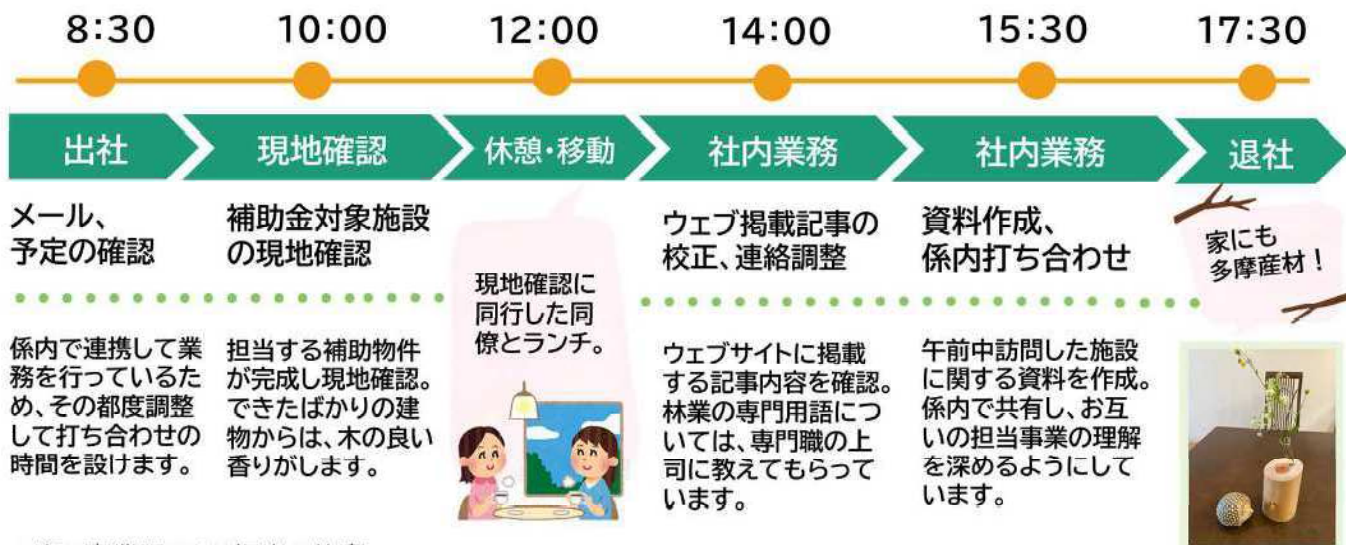
多摩産材等の国産木材についての様々な情報を発信し、
国産木材の活用やオフィスの木質化の活動を「活かす繋げる」場

※多摩産材：東京都内の多摩地域で生育し、その地区で生産・認証された木材

MOCTION
（新宿区）



森の事業課職員の1日の過ごし方（例）



◆森の事業課のある担当の仕事

駅や商業施設で多摩産材を使用した建物に交付する「にぎわい施設で目立つ多摩産材推進事業」補助金業務
多摩産材情報センター及び多摩産材の魅力発信ショールーム「TOKYO MOKUNAVI」の運営

◆担当職員からのメッセージ

補助金業務では、提出された図面や書類の確認、完成した建物の現地確認等、
ショールームの運営では、内装、展示品の選定、ウェブサイト、イベントの企画などに携わっています。
正確さが求められる補助金事業とショールームの運営という感性が求められる業務を担当することで当初不安も
ありましたが、チームで取り組んでいるので安心して業務を進めることができます。



東京都農林水産振興財団で働く魅力

- ◎ **東京の農林水産業の発展に公益的立場から携わることができる数少ない職場の1つ！**
- ◎ **東京の農林水産業の現場を直接目で見て、聞いて、感じる職場**

➤ 都との関わり方

- ・ **都の政策実現に向け、都と連携して公益性の高い事業運営を実施**

⇒ 現場で培ったノウハウ等を活用しながら事業提案を行い、
都と協働して事業を推進。

➤ 都庁組織での仕事との比較

- ・ **都政の課題に対し、現場で向き合うことが出来る**

⇒ 生産者や消費者等と直接的にかかわる機会（農林水産イベントの
企画・立案、各種支援事業等）が多く、都民や企業の声を直接
聞くことができ、やりがいがあります。

職場はいつも東京の農産物と多摩産材
に囲まれていて、にぎやかです！



「世界から選ばれ続けるTOKYOへ。」

行政や地域の観光団体、民間事業者など、様々なパートナーと連携しながら、**東京の更なる観光振興**に向けて取り組みを推進

海外
旅行者
誘致

ビジネス
イベント
誘致

地域の
観光振興

観光産業の
支援

観光情報の
発信

✦ 職員数（令和7年11月1日現在）

正規職員132名、都派遣25名、嘱託職員等39名

観光業をはじめ、様々な業界経験者が活躍しています！

当財団が行う事業の一部をご紹介します！

海外旅行者誘致

- 海外でのテレビCM放映
- 海外メディアのサポート
- 東京観光公式ウェブサイトの運営

ビジネスイベント誘致

- 国際会議の誘致・開催支援
- ユニークベニュー利用促進
- MICEグローバル人材育成

地域の観光振興

- 観光関連団体への支援
- 観光資源の開発
- 国内外の映画・ドラマ撮影支援

観光産業の支援

- 東京観光産業ワンストップ支援センターの運営
- 受入環境の整備
- デジタルサイネージの管理

観光情報の発信

- 観光情報センターの運営
- 東京都観光ボランティアの運営
- 東京トラベルガイドの発行



東京観光財団での1日

観光事業課Aさん

観光インフラ整備課Bさん

9:00	出勤（メール・スケジュール確認）	出勤（メール・スケジュール確認）
10:30	社内ミーティング 	補助金書類審査
12:00	昼食	昼食
13:00	資料作成、タイアップ記事・SNS等での投稿内容の確認	出張
15:00	事業者とのオンラインミーティング	（補助金支給対象施設の現地確認）
17:00	 メール確認、業務整理	
17:45	退勤	退勤

政策連携団体で働く魅力



➤ 都とどう関わっているか

- 都と協力し、東京の観光振興を推進
- 「世界から選ばれ続けるTOKYOへ。」を理念に観光推進団体としての専門性・ノウハウを発揮して事業を展開する、**ツーリズム推進のプロフェッショナル**

➤ 都内部での仕事との比較

事業計画及び予算に基づき、**都と連携・協働しながら個別具体的なプロモーション、事業者支援等**を実施

➤ 政策連携団体で働くことの魅力

- より現場に近いところで、都の観光振興の一翼を担うことができる
- ⇒ 都民及び都内観光事業者の生の声を聞くことで、**両者の目線に立った事業を展開**できる

団体の概要

～東京のくらしから、地球の明日をつくっていく～

所在地	東京都墨田区江東橋四丁目26番5号
設立年月日	昭和37年5月14日
評議員会	評議員8名
代表者	理事長小川 謙司
役員	理事7名 監事2名
職員数	461名（令和7年4月現在）
基本財産	3億5千6百万円
事業規模	167億4千万円（令和7年度予算）



事業紹介

設立から約60年、私たちは都庁グループの一員として、資源分野、エネルギー分野、自然分野など、様々な環境課題を解決するための事業に取り組んでいます。

- ・地球温暖化防止活動の支援等に関する事業
- ・資源の循環利用及び廃棄物の適正処理の支援等に関する事業
- ・生物多様性の保全等に係る支援等に関する事業
- ・大気、水質等環境の改善に係る支援等に関する事業
- ・環境に係る調査研究・技術開発等に関する事業
- ・環境に係る広報、普及啓発及び支援等に関する事業



総務部Kさん（事務職・本社勤務）の1日の過ごし方

8:30	出勤、メール等の確認
9:00	係内ミーティング
12:00	昼食
13:00	オンラインでの関係機関との打ち合わせ
15:00	企画書作成
17:15	退勤



政策連携団体で働く魅力

～都庁グループの一員として

『持続可能で魅力と活力あふれる都市・東京』の実現を目指して～

多様化する環境課題の解決を図るためには、東京都などの自治体、民間企業や都民など様々な主体との連携が必要不可欠です。

民間企業とは異なる立場である公社は、行政と民間の“架け橋”として、東京都の環境行政を補完・支援し、これまで培った知見・専門性を活かして持続可能で魅力と活力あふれる都市・東京を目指してまいります。



会社概要

- 設 立：2004年4月（2020年4月 東京水道株式会社として業務開始）
- 資 本 金：1億円
- 売 上 高：約298億（2024年度）
- 従業員数：約3,000名（2025年9月現在）



東京水道株式会社の技術系業務について

水道施設の維持・管理業務～水源から蛇口まで～

水道水源林の保全管理、水源施設の管理業務

東京都の水道水源林は、多摩川の上流、山梨県甲州市から東京都西多摩郡奥多摩町にまたがる広大な面積を有しています。当社は、この水道水源林の状況調査及び保全管理業務を行っています。



浄水施設の水質管理業務

浄水処理の工程ごとに厳格に品質管理を行い、「安全でおいしい水」を安定して供給できるよう、浄水場の適正管理に努めています。



浄・配水施設の運転管理・維持保全業務

各浄水場において、さまざまな水処理の運転監視及び場内設備の維持管理業務、水質管理業務を行い「安全でおいしい水の安定供給」に努めています。



水道管路の維持管理業務

都内に約28,000kmにわたり埋設されている水道管路や水道管附属設備の消火栓、制水弁の機能調査等のほか、玉川上水や村山山口貯水池の管理など、水道システムのトータル維持管理を行っています。



調査・設計・積算から施工監理まで

浄・配水施設の整備業務

浄水場や給水所を安定的に稼働し続けられるよう、電気・機械設備の保守点検から補修・改良工事まで、幅広い設計業務を行っています。また、作業が安全に行われているかをチェックするとともに、施工会社に対し指導・監督を行います。



水道管路の整備業務

水道管の更新や新設を行うにあたって、工事対象路線の調査、積算や設計図書の作成を行っています。また、工事が安全に行われているかをチェックし、必要に応じて関係機関との調整や地元住民の皆さんへの説明などを行っています。



給水装置業務

給水装置関係の資料について交付・閲覧を申し込まれるお客さまへの対応や、水道メータの管理、設計図面の審査から検査に至るまで、お客さまの財産である給水装置に関する業務を行っています。



専攻と応募職種について

水道管路の整備業務
水道管路の維持管理業務
給水装置業務

文理問わず応募可能
★土木系学科専攻歓迎

浄・配水施設の運転管理
・維持保全業務

浄・配水施設の整備業務
機械・電気・電子・情報・制御工学系学科専攻

浄水施設の水質管理業務

生命・化学・薬学系
学科専攻

水道水源林の保全管理
水源施設の管理業務

森林・林業系学科専攻

某設備事業所 Aさんの1日の過ごし方

8:30	出勤		
8:40	ミーティング（昨日からの引継ぎ事項、本日の予定）		＜巡視点検の様子＞
9:00	巡視点検、修繕作業など（12:00～13:00 昼休憩）		
15:00	点検終了、報告書作成		
16:00	ミーティング（本日の点検及び作業報告、明日の予定）		＜ICTの活用＞
16:10	事務作業（作業手順書作成、設備台帳管理、水道局との日程調整など）		
17:15	退勤		

東京水道株式会社で働く魅力

東京都の政策連携団体として、水源から蛇口まで、東京の水道事業の業務範囲を包括的に担う日本最大級の水道トータルサービス会社です。東京水道グループの一員として、東京都水道局とともに、都民生活や首都東京の都市活動を支える基幹ライフラインを担う重要な役割を果たしています。



ますます重要な役割を担い、成長し続けます。

当社は、東京都水道局から移転された技術系・営業系の業務を担っています。今後も業務移転が予定※されており、首都東京の水道事業における当社の役割は、ますます重要性を増していきます。安定した経営基盤のもと、当社は着実に成長し続けていきます。

※令和3年3月「東京水道経営プラン2021」（東京都水道局）より



会社概要

名称 東京都下水道サービス株式会社（TGS）

所在地 東京都千代田区大手町2-6-3

設立 1984年8月1日

社員数 965名（令和7年4月1日時点）

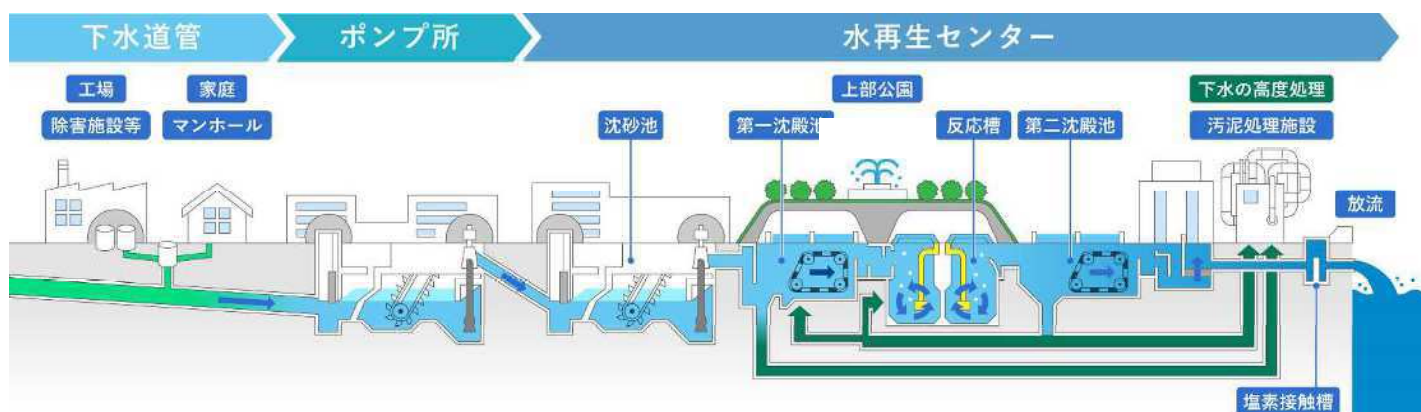
資本金 1億円

売上高 306億円（令和6年度）

事業内容 **東京23区内の下水道施設の維持管理**



会社概要



土木職



土木系

設備職



機械系

電気系

環境検査職



化学系

設備職 1日の流れ(例)

6:30	起床、身支度
7:30	社員寮or自宅出発（電車で通勤）
8:15	職場到着
8:30	始業、朝のミーティング
8:40 ～12:00	午前の業務 （センター内設備の点検業務） 
12:00	昼休み
13:00 ～17:15	午後の業務 （点検報告書の作成、保守点検委託の設計等、簡易修繕）
17:15	終業 
18:00	帰宅
}	（夕食、家事、趣味etc…）
23:00	就寝

土木職 1日の流れ(例)

6:30	起床、身支度
7:30	社員寮or自宅出発（電車で通勤）
8:15	職場到着
8:30	始業、朝のミーティング
8:40 ～12:00	午前の業務 （メールチェック、現場調査準備、現場調査）
12:00	昼休み
13:00 ～17:15	午後の業務 （設計業務、外部と工事打合せ）
17:15	終業
18:00	帰宅
}	（夕食、家事、趣味etc…）
23:00	就寝

TGSで働く魅力 〈政策連携団体に働く魅力〉

魅力1

維持管理業務の他、現場の課題を解決する技術開発や、現場からの発想に基づく下水道局への政策提案も行っています。

魅力2

公共性が高く、安定的に事業を運営しています。

魅力3

勤務地、社員寮は**東京23区内のみ**！
転居を伴う転勤は発生しません。



(公益財団法人) 東京都歴史文化財団

1. 財団概要

東京における文化芸術に関する事業を行う公益財団法人
東京の芸術文化振興に取り組む専門団体として、
都の文化行政の一翼を担う

2. 事業内容

美術館や劇場等の管理・運営、支援事業

3. 職員の仕事

事務職の他、学芸員や司書といった専門職が働く

作品等の
保存・展示

音楽・舞台
芸術の
振興

人材育成
教育普及

芸術文化
の
基盤整備

都立文化施設（博物館・美術館・ホール・劇場等）や
アーツカウンシル東京による事業を行っています

【都立文化施設の例】

- ・東京都江戸東京博物館
- ・東京都美術館
- ・東京都庭園美術館
- ・東京都写真美術館
- ・東京都現代美術館
- ・東京文化会館
- ・東京芸術劇場

バラエティに富んだ
芸術文化事業を実現

各施設の
専門分野
美術、音楽、写真
演劇、歴史

各施設が
協力・協働



東京都の芸術文化を支える仕事です！

とある 1 日の勤務例（館の管理係職員）

9:00	出勤 開館に向けた朝礼
10:00	メールチェック、問い合わせ対応、起案作成
11:00	係会議
12:00	昼食
13:00	修繕工事に関する現場調整、館内巡回
16:00	学芸部門と次回展覧会の打ち合わせ、報告書作成
17:45	退勤



政策連携団体で働く魅力

東京都の文化政策の実行部隊として様々な文化事業に携わり、都への政策提言も行っています。

⇒美術館や劇場など、多様な施設を管理・運営しており、幅広い経験を積むことができます。

⇒より現場に近いところで、都民の声を聞きながら、都の文化振興へ貢献することができます。

当財団は企画・広報・労務管理・経理といった業務も多く、学芸員と同数以上の**事務職員**が働いています。



公益財団法人東京都つながり創生財団は、東京の活力の源泉である「人」と「人」をつなぎ、地域コミュニティの活性化を支援するため、2020年10月1日に東京都が設立した新しい団体です。

都民一人ひとりが輝ける社会を実現するため、在住外国人支援などの多文化共生社会づくりに取り組むとともに、ボランティア文化の定着や地域の中核である町会・自治会等の支援など共助社会づくりを推進し、地域コミュニティの活性化をめざしています。



公益財団法人
東京都つながり創生財団
Tokyo Metropolitan Foundation "TSUNAGARI"

財団ホームページ



マリ クリステーン理事長



多文化共生社会づくり

様々な人が安心して暮らせる多文化共生社会をつくるため、外国人相談、情報発信、地域日本語教育の推進・人材育成、日本語を母語としない子供支援事業の推進、都内外の国際交流協会や民間支援団体との連携や情報共有などを行っています。

東京都 多言語 相談ナビ
— Tokyo Multilingual Consultation Navi —



TIPS for Tokyo Life
Tokyo Intercultural Portal Site
東京都多文化共生ポータルサイト



東京
にほんごきょうしつざいと
日本語教室サイト



伝わる・つながる
やさしい 日本語



共助社会づくり

相互に助け合う共助社会をつくるため、東京2020大会を契機としたボランティア参加気運の継続・拡大と、地域コミュニティの中核である町会・自治会の活動を支援しています。



東京都町会・自治会
活動支援ポータルサイト



1日の過ごし方

多文化共生課Aさんの場合

9:00	出勤 メールチェック、打合せの準備
10:00	やさしい日本語基礎研修について、企画打合せ 
12:00	昼食
13:00	東京都と事業に関する打合せ
15:00	SNS更新、ニュースレターの配信準備
17:45	退勤

共助推進課Bさんの場合

10:00	勤務開始（テレワーク） メールチェック
11:00	資料作成
12:00	昼食、移動
14:00	市の職員と打合せ、移動
17:00	町会自治会向け個別相談会
18:45	勤務終了 



政策連携団体で働く魅力

Q 東京都とはどう関わっていますか？

A 東京都の施策の一部を請け負ったり、東京都と協働して事業を行っています。緊密に連携する必要があるので、頻繁に打合せをしたり連絡を取り合ったりしています。

Q 東京都の仕事と何が違いますか？

A 事業を進める中で、都民やその支援者と直接かかわる機会が多いと思います。事業に対する反応を直接見聞きできるので、やりがいを感じます。

Q 政策連携団体で働く魅力は何ですか？

A 東京都の政策に関連した影響力の大きい事業に携わることができます。また、現場の状況やニーズに応じて事業を柔軟に進めていくことができます。政策連携団体は、官公庁と民間企業両方の良い部分を兼ね備えた職場です！



東京都スポーツ文化事業団 設立の目的

「都民の生涯にわたるスポーツ等の普及振興を図り、もって、都民の健康的・文化的生活の向上に寄与すること」を目的としています。

この目的を達成するため、都立スポーツ施設の指定管理者として、誰もがスポーツに親しめる場や機会を提供するほか、東京都との強固なパートナーシップの下、数々のスポーツ事業を実施しています。

主な事業

①スポーツ活動等に親しむ場の提供

- 東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館及び東京アクアティクスセンターの管理運営
- 競技大会や行事の運営サポート



②スポーツ活動等に親しむことができる機会の提供

- スポーツ振興事業「親子で楽しむリズムスポーツ」など
- 施設活用自主事業「3x3（バスケットボール）カップ」など
- 周辺連携事業「ニュースポーツイベント」など
- スマイル自主事業「島しょ地区スポーツ・文化普及事業」など
- 東京都のスポーツ施策推進事業「スポーツ東京案内事業」など

③次世代のスポーツ選手の育成

- スポーツ国際交流事業「東京国際ユース（U-14）サッカー大会」「ジュニアスポーツアジア交流大会」など

④デフリンピック大会準備・運営

- 2025年デフリンピック大会開催に向けた準備・運営



東京体育館サービス担当Aさんの1日の過ごし方

8:30	出勤 ～ 担当内ミーティング・メールチェック
9:00	➤ 東京体育館内で開催中のスポーツ大会への対応 (大会主催者との打合せ、現場確認) ➤ 東京都との打合せ
12:00	昼食
13:00	資料作成
15:00	東京体育館の利用を検討中のイベント主催者との打合せ
17:15	遅番へ引継ぎ ～ 退勤



その他、電話・メール対応、窓口対応等は適宜行う。



東京都スポーツ文化事業団で働く魅力



私たちは、都立スポーツ施設の管理やスポーツイベントの運営などを通して、東京都におけるスポーツ振興を牽引するため、多様なニーズに対応した当事業団ならではの質の高いサービスを提供しています。

そのため、都庁での仕事と比べると、都民の方々がスポーツに触れる姿に直に接する機会が多く、仕事へのやりがいを実感できる場面が多いかもしれません。

また、行政単体では機動的に実施することが困難な政策に対し、スポーツの専門的な団体として、東京都職員と一緒に創意工夫して実現に向かっていくことは、他では得難い貴重な経験になると思います。

誰もがスポーツを楽しみ、スポーツの力を享受できる「スポーツフィールド・東京」の実現に向けて、最前線で携わることが大きな魅力です。



公益財団法人東京都公園協会

私たち東京都公園協会は、都庁グループの一員として都立公園・庭園・霊園及び東京の河川施設等の維持管理を通じて、快適で魅力ある都市を創る団体です。

① 新たな時代の公園マネジメントで多様なニーズに応えます

都市・自然公園の指定管理事業

飲食店などの収益事業



売店



たまきようりゅう



代々木公園

私たちの
5つの
ミッション

② 文化財庭園としての価値を高め未来に継承します

文化財庭園の指定管理事業



③ 静謐で安心できる霊園環境を提供します

東京都霊園の指定管理事業



8霊園の案内キャラクター

みたまちゃん



多磨霊園



八柱霊園

④ 水の都東京の魅力を届けます

水辺の魅力アップ事業

地下調整池の保守管理事業

水上バス活用事業



水辺のにぎわい作り
(隅田川テラスの花
守活動)



神田川・環状七号線
地下調節池



水上バス

⑤ 緑豊かなまちづくりに貢献します

花と光のムーブメント事業

東京都都市緑化基金



ふたばちゃん



～本社統括部門（維持）勤務～Aさんの1日の過ごし方

8:30	出勤 メールチェック
10:00	施設補修業者と打合せ
11:00	打合せをもとに工事設計
12:00	昼食
14:00	上司と打合せ
15:30	実地調査のため出張
16:00	公園に実地調査
17:30	現場から直帰

東京都公園協会で働く魅力

1. 都市の自然環境を守る社会的意義

東京都内の公園をはじめ、庭園、霊園、河川の管理・運営を通じて、快適で魅力ある都市を創る仕事です。環境保全や地域の暮らしに貢献できる、やりがいのある職場です。

2. 多様なフィールドで活躍できる仕事

造園、施設管理、イベント企画、環境教育など、幅広い分野で活躍できるのが特徴です。事務系の職員も多く活躍しています。自然や地域に関心がある方にとって、自分の専門性や興味を活かしながら成長できる環境もあります。

3. 都民とのふれあいを通じたやりがい

公園でのイベントやボランティア活動などを通じて都民と直接関わる機会が多く、感謝や笑顔に触れることで仕事の意義を実感できます。

公益財団法人東京都都市づくり公社について（１）

公社のあらまし

昭和36年7月20日 **財団法人東京都新都市建設公社**設立

平成25年4月 公益財団法人へ移行し、名称を

公益財団法人東京都都市づくり公社に変更

平成31年4月 東京都政策連携団体に指定

令和3年7月 創立60周年

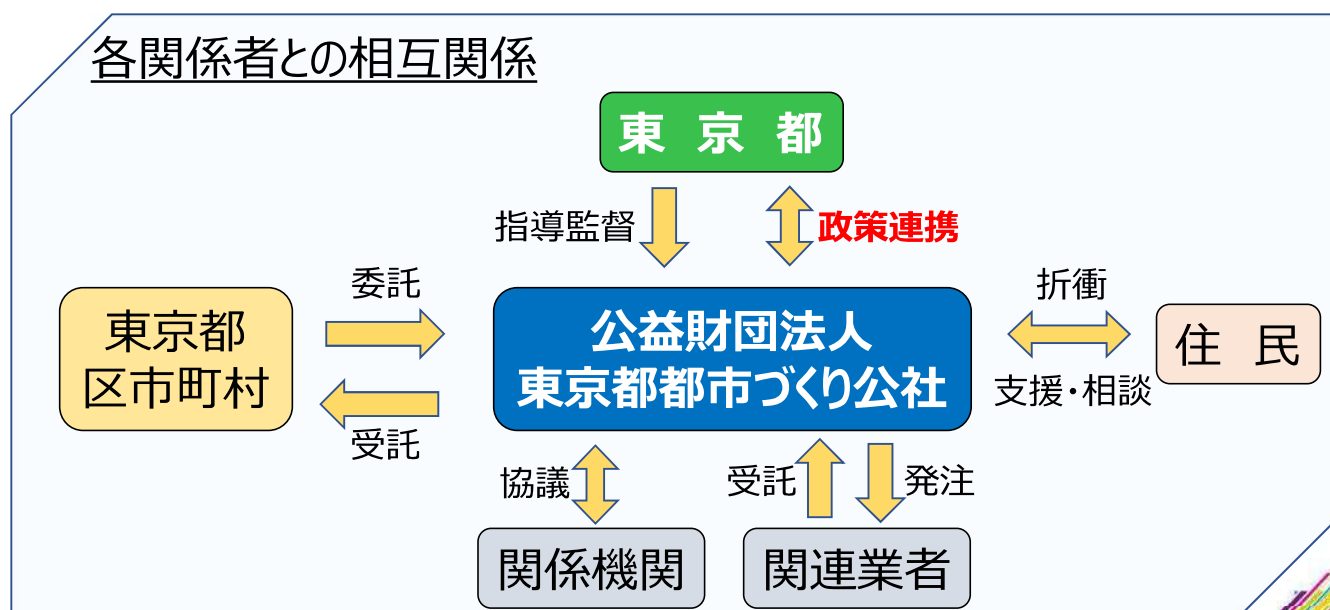
公社の役割

- 都区市町村の技術力を補完し、都区市町村が実施する都市基盤整備を推進します。
- 地域貢献に寄与する地域開発事業、環境対策事業、保有土地を活用した地域活性化、都市づくり支援事業等を実施します。

公益財団法人東京都都市づくり公社について（２）

- 公社は昭和36年の設立以来、東京都・区市町村と共に、各事業を通してまちづくりを手掛けています。

各関係者との相互関係



第二防災まちづくり事務所用地課Yさんの1日の過ごし方

9:30	出勤・メール確認・施行地区内の巡回	
10:00	課内会議 (1週間の業務予定報告・トピック等)	
11:00	建物評定委員会 (建物推定再建築費の決定等)	
12:00	ランチ！	
	13:30	【都庁出張】用地進捗管理会議 (都区JRと4者会議)
	15:30	権利者折衝 (土地代金・建物移転補償金提示)
	16:30	建物移転補償金算定
	18:15	退勤

東京都都市づくり公社で働く魅力

Point①

都・区市町村のパートナー

都・区市町村から頼られるパートナーとして、質の高い事業を着実に進め、まちづくりに貢献できます。

Point②

事業推進のプロジェクトリーダー

蓄積したノウハウや情報を活用し、事業者への発注、関係者協議、住民交渉等、まちづくりの総合支援ができます。

Point③

技術・知識のスペシャリスト集団

ベテランから若手へと継承される多様な専門技術・知識を活用し、まちづくりのスペシャリストとして活躍できます。

Point④

地域のコーディネーター

まちづくり説明会や個別相談等、現場の最前線で直接地域の方々と向き合うため、充実感を味わうことができます。

団体の概要・事業紹介①



多摩都市モノレール株式会社は、
多摩地域を南北に結ぶ交通機関「多摩都市モノレール」
の運営を行っております。

開 業：Ⅰ期 1998年11月 上北台～立川北
Ⅱ期 2000年 1月 立川北～多摩センター

営業距離：16.0km

駅 数：19駅

所要時間：約36分（最高運転速度65km/h）

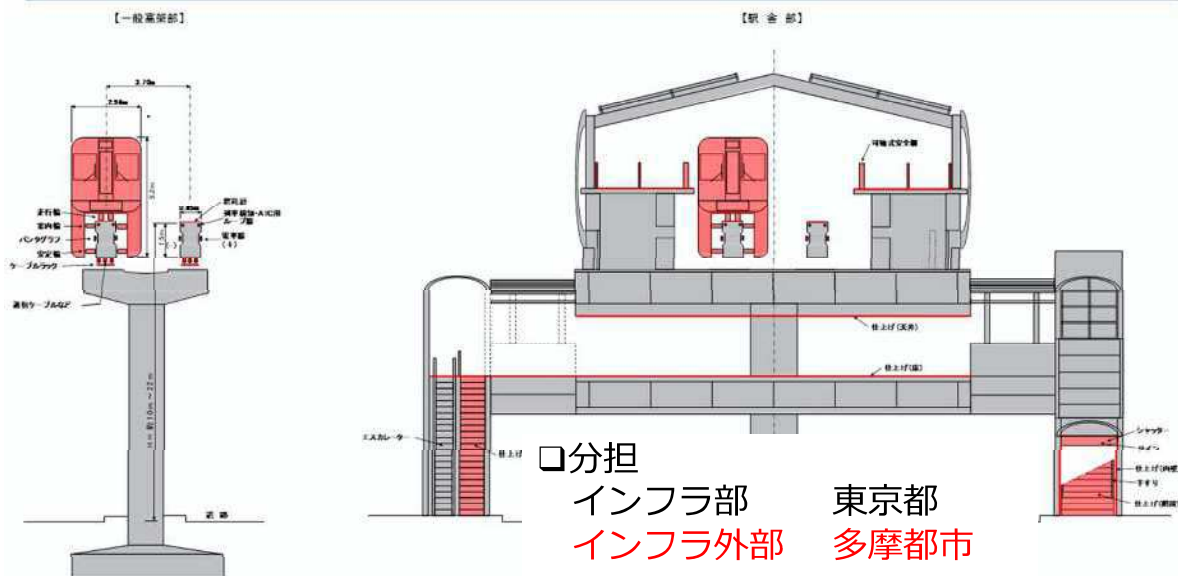
従業員数：約260名



団体の概要・事業紹介②

○東京都と多摩都市モノレールの関係

東京都が橋脚や軌道桁などのインフラ部分を担当し、
多摩都市モノレールは運営基地や変電所、車両など、主として
運行に関わる部分（インフラ外部）を担当しています。



～駅係員の一日～

9:20 出勤・引継ぎ

10:00 窓口ご案内

12:30 昼食

13:30 券売機の締切業務など

18:30 夕食

19:30 窓口ご案内

翌1:00 仮眠

翌6:30 ラッシュ対応

翌9:20 業務終了



～設備技術員の一日～

8:30 出勤・メール確認・打合せなど

12:00 昼食

13:00 定期点検

17:30 夕食・仮眠

23:15 夜間作業

4:00 事務作業

翌8:30 業務終了



政策連携団体で働く魅力



採用情報
随時更新中!!

○多摩都市モノレールの延伸事業

現在、東京都と多摩都市モノレールが一体となって延伸事業が進められており、多摩地域の新たな鉄道の開業に携わることができます。

○最前線の仕事に携わる

本社事務部門だけでなく、駅、運転、設備・車両の保守点検などの現場部門を有しており、全ての社員が現場部門を経験します。モノレールの運行に関わる最前線の仕事を体験できるのも魅力の一つです。



団体の概要・事業紹介

東京臨海高速鉄道株式会社は、新木場～大崎を結ぶ「りんかい線」の運営を行っています。

開業：第一期 H8.3 新木場～東京テレポート

第二期 H14.12 東京テレポート～大崎

路線名：臨海副都心線（路線愛称名：りんかい線）

営業キロ：12.2km

駅数：8 駅（管理駅は大崎駅を除く 7 駅）

所要時間：19分（表定速度41km/h）



東京臨海高速鉄道のR7年度の取組例

開業30周年を控え、新型車両を導入

りんかい線は、2026年3月に開業30周年！

- 2025年10月には、新型車両71-000形の運行開始
- 今後、30周年記念プロジェクトを実施予定



働きやすい職場環境

働きやすい職場づくりを進めています。

- 休暇の取得推進
- 運輸区執務室の改修
- 社員と経営層が語り合う「りんかい車座ミーティング」の実施 など

取得率実績（R6年度）

年次有給休暇	98%
育児休業	女性 100%
	男性 87.5%

管理駅 駅務係の一日（例）

8:45	出勤・引継ぎ
10:00	券売機の締切業務など
12:00	昼食
13:00	窓口ご案内
18:30	夕食
19:30	窓口のご案内や締切業務
21:00	ご案内・駅構内巡回など
翌1:00	仮眠
翌5:20	駅構内巡回・朝ラッシュ対応など
翌8:45	引継ぎ・業務終了

設備管理区 施設係の一日（例）

8:45	出勤・点呼
9:00	メール確認・打合せなど
12:00	昼食
13:00	現場調査・書類確認など
17:30	夕食・仮眠
22:00	夜間作業準備
23:30	現場での夜間作業
翌4:30	休憩
翌5:30	作業報告書作成など
翌6:45	業務終了

東京臨海高速鉄道で働く魅力

都心部・臨海地域地下鉄事業

当社は、東京都などが検討を進めている
「都心部・臨海地域地下鉄事業」の営業主体の予定者となりました。
 入社後、**新線の計画や運行などの業務に携わるチャンス**があります！



鉄道事業の現場と本社の経験

入社後は原則、**管理駅（運輸職）**、**設備管理区（技術職）**に配属され、**現場の最前線で経験を積むことができます**。その後運輸職は、本人の適性、能力等に応じて**車掌、運転士へ登用**されます。

運輸職・技術職とも、適性や経験、本人の希望などによって、**本社での計画や管理などの業務に携わることも可能**です。



○東京都住宅供給公社の概要

- ・東京都の住宅政策を形にする、“住宅事業のプロフェッショナル”。
- ・住宅づくり、まちづくりを通して都政課題に取り組んでいます。

～事業概要～

・賃貸住宅及び関連施設の建設・管理事業



ユトジラ

⇒団地やマンション(「コーシャハイム」・「カーメスト」シリーズ等)を建設・管理
住宅と福祉施設等を複合的に建設・管理し「多世代共生」に貢献

・公営住宅等の管理受託事業

⇒都営住宅等の管理を受託。募集・管理業務を適正に遂行し、
“セーフティネット”である公営住宅に関する実務を担っています。

○東京都住宅供給公社の取組み紹介

①住宅建設事業（団地再生）

住宅の建替え、創出用地の活用により地域活性化に貢献



②住宅管理事業

計画修繕・リニューアルで住宅を長期活用。安心安全な住まいづくり



○職員の1日のスケジュール

	住宅営繕部公社住宅営繕課・技術職	窓口センター公社住宅係・事務職
9:00	出勤 メールチェック、 打合せの資料準備	出勤 メールチェック、 窓口営業準備
10:00	担当物件の改修工事について、 業者と打合せ	管理物件カーメスト大蔵 現地確認(出張)
12:00	昼食	昼食
13:00	工事の設計・積算等、 デスクワーク	事務所にて入居者対応業務 (電話・対面による申請等)
15:00	担当物件の工事確認 (出張)	住宅共益費(管理費)予算策定 に向けた資料作成
17:45	退勤 (直帰)	退勤

※上記は一例です。配属先部署により異なります。

※技術職…建築職・土木職・機械職*・電気職* *住宅設備担当



○仕事の魅力

- ・東京都の住宅政策にのっとった事業運営（「東京都住宅マスタープラン」、
「2050東京戦略」等）
- …“住宅”に特化して都政課題に取り組むことができる！
- ・政策連携団体として、専門的に住宅事業を推進
- …より“現場に近い”仕事ができる！
- …現場を知るからこそ都民に必要とされる住宅づくりができる！



- ▶ 住宅に関わる仕事がしたい方
 - ▶ 住民と関わり合いながら暮らしを支える仕事がしたい方
- 是非一緒に、これからの東京の住まい・まちを創りましょう！





東京動物園協会の主な事業



① 飼育展示



インドサイのトレーニング

② 野生生物の保全



ジャイアントパンダ

③ 教育普及



YouTube LIVE 夜の水族園

④ 園内サービス



掲示物の作成

⑤ 固有事業



出版物の発行

⑥ 収益事業



オリジナル商品の制作・販売



商品開発係のある1日の過ごし方

8:30	出勤 メールチェック
9:00	ぬいぐるみ商品の監修を受ける
12:00	昼食
13:00	ぬいぐるみメーカーとの打合せ
15:00	資料作成
16:45	係内ミーティング
17:00	メールチェック
17:15	退勤



飼育係による
ぬいぐるみ監修の様子

写真は、飼育係と一緒に実際のサンプルと写真を並べて意見を聞いているところです。



クロマグロ



ハダカデバネズミ



タイリクモモンガ



ハシビロコウ

東京動物園協会で働く魅力

① 様々なフィールド（現場）で活躍できる



② 都政と連動した取組に関わることができる

野生生物の保全

東京都環境局や環境省、現地NGOなど



アカガシラカラスバト
(小笠原諸島固有種)



アナカタマイマイ
(小笠原諸島固有種)



アカハライモリ

公益財団法人 東京都道路整備保全公社

東京都道路整備保全公社について

◆公益財団法人

広く社会の役に立つ事業の実施を目的とし、**公益認定法**による**認定を受けた財団法人**のこと。

◆基本理念

安全快適な道路環境の創出と駐車対策の推進等を通じて
都市再生及び**都市機能の維持増進**に貢献する。

◆公社事業



得られた収益を広く **都民・社会に還元**

～事業の紹介～

道路事業(公益目的事業①)

- ・道路用地取得、無電柱化事業
- ・道路に関する普及啓発事業 他



駐車対策事業(公益目的事業②)

- ・都市の環境改善に資する調査等
- ・駐車場情報の提供 他



自主経営事業(収益事業)

- ・新宿西口広場活性化事業
- ・駐車場事業



若手職員（土木職）の1日の過ごし方

8:30	出勤（メールや掲示板の確認をします）
9:30	工事の進め方について係内で打合せ
10:30	打合せ結果をもとに工事資料の作成
12:00	昼食（近くのお店に先輩と食べにいくこともあります）
14:00	現場へ移動し、施工検査
16:00	受注者と現場にて打合せ
17:15	退勤



政策連携団体で働く魅力

東京都道路整備保全公社

都の道路行政を支える政策連携団体として、都からの受託事業を推進するとともに、駐車場事業等の自主事業を実施している。自主事業で得られた収益は、公社独自の公益目的事業を通じて、広く都民・社会に還元している。



- 新卒採用者や中途採用者など多様なバックグラウンドを持つ職員が多く、**自身を成長させる環境**が整っている。
- 公社が担う無電柱化事業や橋梁長寿命化事業等を通じて、その分野の**専門スキル**を身に付けられる。
- ライフ・ワーク・バランス**を実践しやすい環境がある。
- 育児関連休暇の取得など**女性も働きやすい環境**が整っている。



会社概要

当社HPはこちら



■ 設 立：1969年10月

■ 売上高：約93億（2024年度決算）

■ 資本金：2,000万円

■ 社員数：376名（2025年8月現在）

私たち、東京交通サービス株式会社（TKS）は、東京都政策連携団体として、東京の公共交通機関である都営交通の安全・安定輸送を技術で支える会社です。

自動改札機やホームドア、防犯カメラ、地下鉄等の車両、トンネル、エレベーターなど都営交通の運営に欠かせない施設・設備等のメンテナンスを行っています。



都営地下鉄三田線



日暮里・舎人ライナー



東京さくらトラム（都電荒川線）



白丸調整池ダム

事業紹介 ～ 都営交通を総合的に支える5つの事業 ～

【駅務施設事業】

都営地下鉄などの駅に設置されている改札機・ホームドアの点検、機器更新工事の立会などを行っています。



【電気施設事業】

変電設備、駅舎照明設備、通信設備、東京さくらトラム（都電荒川線）の電気設備の保守管理などを行っています。



【車両・機械事業】

都営地下鉄など各車両の検査、駅機械設備の保守管理、交通局庁舎の保守管理などを行っています。



【土木・建築事業】

トンネルなどの土木構造物の検査・点検、駅の建築・設備の点検や修繕、建築・昇降設備の保守管理などを行っています。



【発電事業】

多摩川第一発電所、白丸調整池ダム、多摩川第三発電所などの運転監視や保守管理などを行っています。



東京さくらトラムの車両保守に携わる技術職 I さんの「とある1日」

8:15

出勤（メールチェックなどを行います）

8:30

引継ぎ、作業内容の打合せ、作業準備

9:00

作業開始（東京さくらトラムの車両の検査を行います）



12:00

昼休み

13:00

作業再開



17:00

退勤（報告書を作成、翌日の準備をして業務終了）



東京交通サービスで働く魅力

✓ 東京都交通局との連携

私たちは、交通局との適切な役割分担により、グループ総体として最大の経営効果を発揮できるよう努めています。

近年では、工事監理業務を受託するなど、より大きな役割を担うことで、交通局事業を支えています。



✓ 東京交通サービスで働くということ

都営交通は、一日平均約342万人（令和6年度）のお客様にご利用いただいております。その最前線に立ち、東京の交通インフラを支える仕事に携わることができます。

また、鉄道・軌道保守のプロフェッショナルとしてのスキルを身に付けることができます。

私たちと一緒に「都営交通の安全・安心」を支えたい、
そんな想いを持った方にお会いできることを楽しみにしております。





- 所在地 東京都中野区中野4丁目6番15号
- 設立 昭和27年10月25日（財団法人東京税務協会設立）
平成24年4月1日（公益財団法人東京税務協会に移行）
- 職員数 184人（令和7年10月1日現在）
- 予算規模 12億5,495万円（令和7年度予算）

地方公共団体における税財政の制度及び実務の研究、税財政関係資料の収集及び提供、税務職員の能力向上のための支援並びに税知識の普及啓発等を行い、税務行政の円滑な運営に貢献し、もって地方財政の確立及び住民の豊かで安定した生活の実現に寄与することを目的とした団体

全国自治体職員のために・・・

地方税務行政運営へのサポート、納税者に対する税知識の普及啓発事業などを行っています。

・東京税務協会の主な事業

○自動車税に関する事業

東京都主税局から自動車税の申告受付等業務を受託しています。
また、自動車税に関する制度や手続の内容を普及させるため、パンフレットや動画を作成するなど、PR活動を行っています。

○納税推進業務に関する事業

東京都主税局から口座振替及び納税しようよう等の業務を受託し、広く都民の納税意識の高揚を図るとともに、納期限内納税の促進に貢献しています。



○図書の出版・販売、Web講義の販売

地方公共団体の税務職員向けに、実務手引書等の図書やオンデマンド型Web講義の販売を行っています。



～自動車税事業所～

6時間勤務の職員の例

8:30	出勤
:	窓口での申告書の受付
12:15	昼食
13:00	納税証明・納付書等の発行
:	住所変更の対応等
15:15	退勤



～中野本部～

8時間勤務の職員の例

8:45	出勤
:	メールチェック、ミーティング
12:00	昼食
13:00	会議資料作成
16:00	業者との打ち合わせ
17:30	退勤



※子育て中の職員も多く働いています！



東京税務協会で働く魅力

当協会は、東京都の政策連携団体として、東京都主税局が行う税務事務において、これまで税務の現場で培った知識等を活用し公的サービスを補完的に提供し、都庁グループの一員として活躍しています。

◆自動車税業務◆納税推進業務◆研修業務◆軽油分析業務

税務に関する高い専門性や機動性を活用し、税務実務等に関する地方公共団体の様々なニーズに応えます！

近年、各自治体とも税務部門に長期在職する職員の減少に伴い、税務知識やノウハウの継承が難しくなり、地方税実務の習得、情報交換など、その必要性が高まっています。当協会は、地方税実務のサポート隊として様々な事業を実施しています。





公式note



公式X

GovTech 東京

Our Mission

デジタルの力で住民一人ひとりの生活を豊かに、そして幸せに

Our Vision

情報技術で行政の今を変える、首都から未来を変える

所在地

東京都新宿区西新宿二丁目4番1号
新宿NSビル24階

沿革

設立日 2023年7月24日
事業開始日 2023年9月1日

従業員数

約300人（2025.10.1時点）

公式Web

<https://www.govtechtokyo.or.jp/>



都庁のDXから東京全体のDXへ

行政のプロ・デジタルのプロがバディとなり、
協働して都庁各局・区市町村・政策連携団体を支援する。

GovTech東京が提供する6つのサービス



都庁各局DX

事業検討段階など上流工程から技術面でサポートを実施し、東京都庁各局及び政策連携団体等のデジタル化を支援



区市町村DX

都内区市町村が抱える共通課題の解決のため、区市町村のデジタル化をハンズオンで支援



デジタル基盤強化・共通化

自治体間で共通で利用できるツールやシステム等の調達や開発を推進



デジタル人材確保・育成

公共分野に関心のあるデジタル人材を確保し、区市町村のデジタル人材確保を支援、研修等を通じた人材育成支援



データ利活用推進

官民が協働してデータを利活用できる「東京データプラットフォーム」の運営や各種オープンデータの流通を支援



官民共創・新サービス創出

行政課題の解決に資する新たなデジタルサービスを創出するため、官民共創の取組を推進



GovTech東京の取組

Case1

東京都公式アプリ



Case2

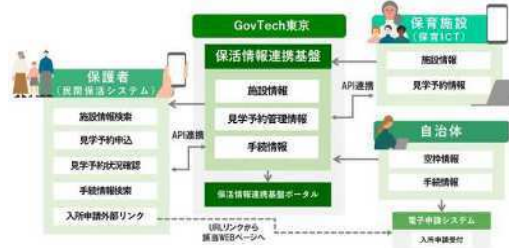
こどもDXプロジェクト

プッシュ型子育てサービス

アプリから必要な情報が先回りて届き、知りそびれや申請忘れをなくす

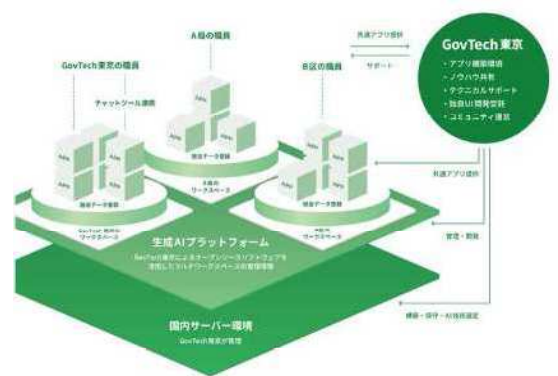


保活ワンストップシステム



Case3

生成AIプラットフォーム



GovTech東京で働く魅力

OPEN & FLATな組織カルチャー

多様なバックグラウンド・スキルを持った人材が分け隔てなく協力できる環境を実現するため、組織に様々な仕組みを取り入れることで組織文化を醸成しています

月次オールハンズミーティング

経営層と職員が一堂に会し、双方向の対話を実現



現場主体による組織文化づくり

より良い組織文化の浸透に向けたワークショップの開催



サーベイ・フィードバックの取組

職員の声と、パディである東京都デジタルサービス局の声を聴取し、より良い組織づくりを実現



経営合宿

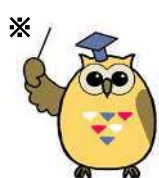
経営層が普段の業務から離れ、職員の多様な声をインプットし、理想の組織実現に向けた討議を実施



団体の概要

都民生活の安心と安全

当協会は防災・救急業務関係者の育成並びに都民の防災・救急に関する意識と行動力の向上に関する事業を進めています。



① 防火管理者、危険物取扱者等の**防災業務関係者を育成**するための事業

② **防災思想の普及**及び**防災行動力向上**のための事業



③ **火災を予防**し、地震等の**災害による被害を軽減**するための事業

④ **応急手当**及び**救急についての普及啓発**に関する事業



⑤ 救急車の適正利用等の**救急需要対策**に関する事業

⑥ 防災・救急関係**図書、用品、グッズ**などの販売

※当協会情報誌イメージキャラクター（火災予防のふくすけ、防災のサイまる、救急のクック）



【総務部】

主な業務内容

- ・庶務、人事、ガバナンス関係業務
- ・経理業務
- ・企画、調整業務
- ・システム業務
- ・広報業務

【防災事業部】

主な業務内容

- ・防災、救急関係図書及びグッズ等の作成、販売業務
- ・各博物館及び防災館の運営業務（総務、広報、インストラクター業務等）



【講習事業部】

主な業務内容

- ・防火防災管理講習、消防設備士講習、危険物取扱者保安講習の運営業務
- ・資格試験受験準備講習会、防火実務講習会等の業務



【救急事業部・救急指導部】

主な業務内容

- ・東京民間救急コールセンター業務
- ・患者搬送業務
- ・救命講習等の指導業務



東京防災救急協会職員のとある1日の過ごし方

企画課 A さん (事務職本部勤務)

8:30	出勤 メールチェック 課内MTG
9:30	資料作成 
12:00	昼食 
13:00	プロジェクト会議
15:00	事務処理
17:15	退勤

救急指導課 B さん (救命講習インストラクター)

8:30	出勤 課内MTG
9:00	資器材整理 移動 
11:00	昼食
12:00	受付 講習開始 
16:00	講習終了 撤収 移動
17:15	退勤

オフピーク通勤を導入しており、フレキシブルに勤務して頂くことも可能です(^^♪



公益財団法人東京防災救急協会で働く魅力

○ 東京都（東京消防庁）との関係性

当協会は、東京消防庁と連携を図りながら、誰もが安心して暮らせる社会を目指して、防災や救急に関わる人材の育成や、都民の防災・救急への意識と行動力を高める活動を行っています。

○ 都内部での仕事との比較

都民に直接関わる仕事であり、都民の反応や成果を実感できる。

【公益財団法人東京防災救急協会（政策連携団体）で働くことの魅力

- ◆ 「防災・救急業務関係者の育成」や「都民の意識と行動力の向上」に関わることで、人を育て、社会全体の防災力を高めることに貢献できるという達成感がある。
- ◆ 「地震等の災害による被害を軽減する」ことを通じて、未然に被害を防ぐという予防的な取り組みの重要性を実感できる。



皆様と一緒に働ける日を楽しみにしています！



本冊子を手にとってくださり、ありがとうございます。

当課ホームページでは、各政策連携団体に関する情報や、各団体採用ページへのリンク集を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

※ 詳しくは、各団体へお問合せください。

グループ経営戦略課ホームページはこちら

東京都政策連携団体の採用情報 で検索

